

ASB

Form Your Vision

インド・マハラシュトラ州における投資機会セミナー 進出日系企業事例

2015年9月

ASB International Pvt. Ltd.

日精イー・エス・ビー機械株式会社

ASB
Form Your Vision

本社概要

会社名 英文	日精イー・エス・ビー機械株式会社 NISSEI ASB MACHINE CO., LTD.
設立	1978年11月8日
代表者	代表取締役会長 青木大一 代表取締役社長 青木高太
本社所在地	長野県小諸市甲4586番地3
事業内容	PETボトルなど、プラスチックボトルの生産機「ストレッチブロー成形機」、金型、付属機器、部品の開発・製造および販売
従業員数	連結：1,535名、単体：205名（2014年9月末現在）

連結子会社

海外13社、国内1社、
NISSEI ASB COMPANY (アメリカ)
NISSEI ASB CENTRO AMERICA, S.A. DE C.V. (メキシコ)
NISSEI ASB SUDAMERICA LTDA. (ブラジル)
NISSEI ASB GmbH (ドイツ)
NISSEI ASB LIMITED (イギリス)
NISSEI ASB MEDITERRANEA, S.L.U. (スペイン)
ASB INTERNATIONAL PVT. LTD. (インド)
NISSEI ASB PTE. LTD. (シンガポール)
ASB PTE (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
NISSEI ASB SOUTH AFRICA (Pty) LTD. (南アフリカ)
PT. ASB INDONESIA (インドネシア)
NISSEI ASB FZE (UAE)
NISSEI ASB AFRICA LTD. (ナイジェリア)
日東工業株式会社 (長野県)



インド生産現法概要

ASB INTERNATIONAL PVT. LTD. (生産現地法人)

所在地 インド マハラシュトラ州アンベルナス市 (ムンバイ市郊外)

出資 当社全額出資

設立 1997年2月

資本金 4億4,777万ルピー (2014年9月末現在)

従業員 1,158名 (2014年9月末現在)

設備等 既存工場棟：工場建屋面積 15,400㎡
第2工場棟：工場建屋面積 7,200㎡
工作機械：145台 (第1・第2工場合計)



3

PETボトルの製造方法 (1)

PET樹脂



PETとは？

Poly Ethylene Terephthalate (ポリエチレンテレフタレートの略)

4

PETボトルの製造方法 (2)

(1) 成形済みのPETボトル

成形済みのPETボトル

プリフォーム



PETボトルの製造方法 (3)

(2) 成形済みのPETボトル

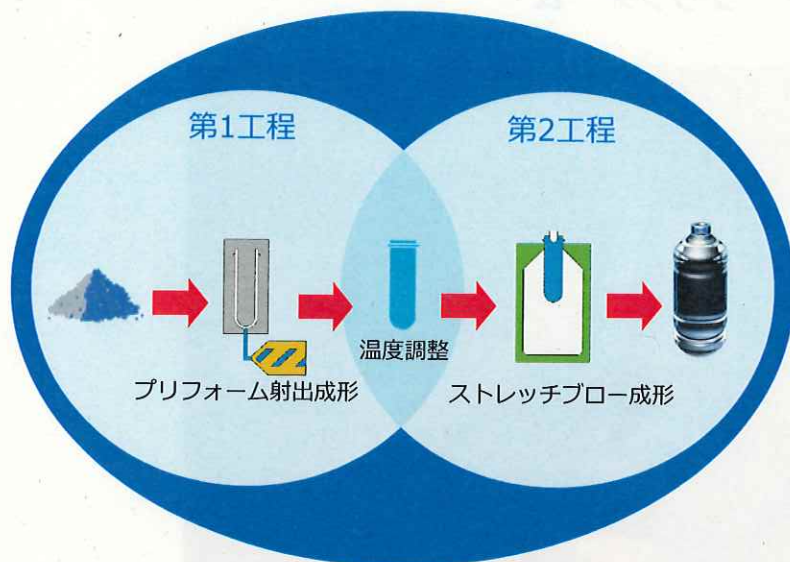
成形済みのPETボトル

完成ボトル



PETボトルの成形機 (1)

ワンステップ機での製造方法



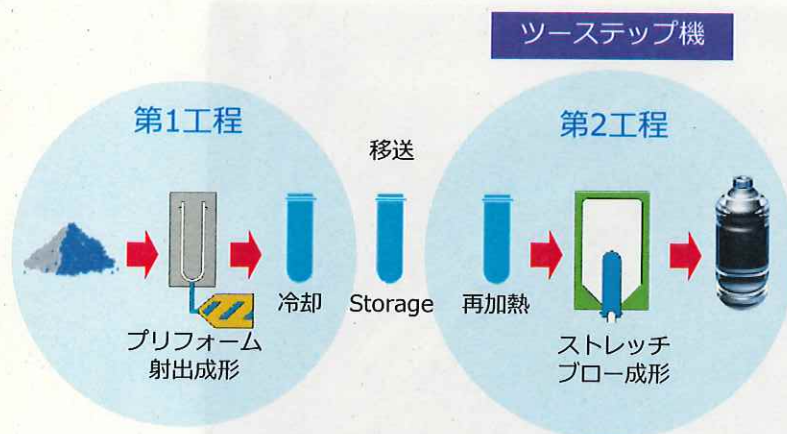
【当社主力機の特徴・メリット】

- ▶ 1台の機械で、プリフォーム成形とストレッチブロー成形が行われる
- ▶ 多品種・中小ロット生産に適している
- ▶ 様々なデザイン・大きさ・形 (=付加価値の高い) のボトル生産に適している

7

PETボトルの成形機 (2)

ツーステップ機での製造方法



【ツーステップ機の特徴・メリット】

- ▶ プリフォーム成形とストレッチブロー成形を別々の機械で行う
- ▶ 単純な形状のボトルであれば大量生産が可能 (飲料などの大市場に適している)
- ▶ 大手飲料メーカー・大手容器メーカーなどへの納入

8

連結業績 (金額ベース世界シェア10~15%、台数ベースシェア1位)

- 2014年9月期 売上高 22,650百万円 営業利益 3,971百万円 (輸出比率約90%)
- 2015年9月期予想 売上高 25,000百万円 営業利益 4,500百万円

ASB International Pvt Ltd. (ASBI)単体業績

- 2014年3月期 売上高 3,287百万ルピー (約6,245百万円)
- 2015年3月期 売上高 4,334百万ルピー (約8,235百万円)

ASB International Pvt Ltd. (ASBI)単体業績 インド国内販売

- 2014年3月期 売上高 1,372百万ルピー (約2,606百万円)
- 2015年3月期 売上高 1,557百万ルピー (約2,958百万円)

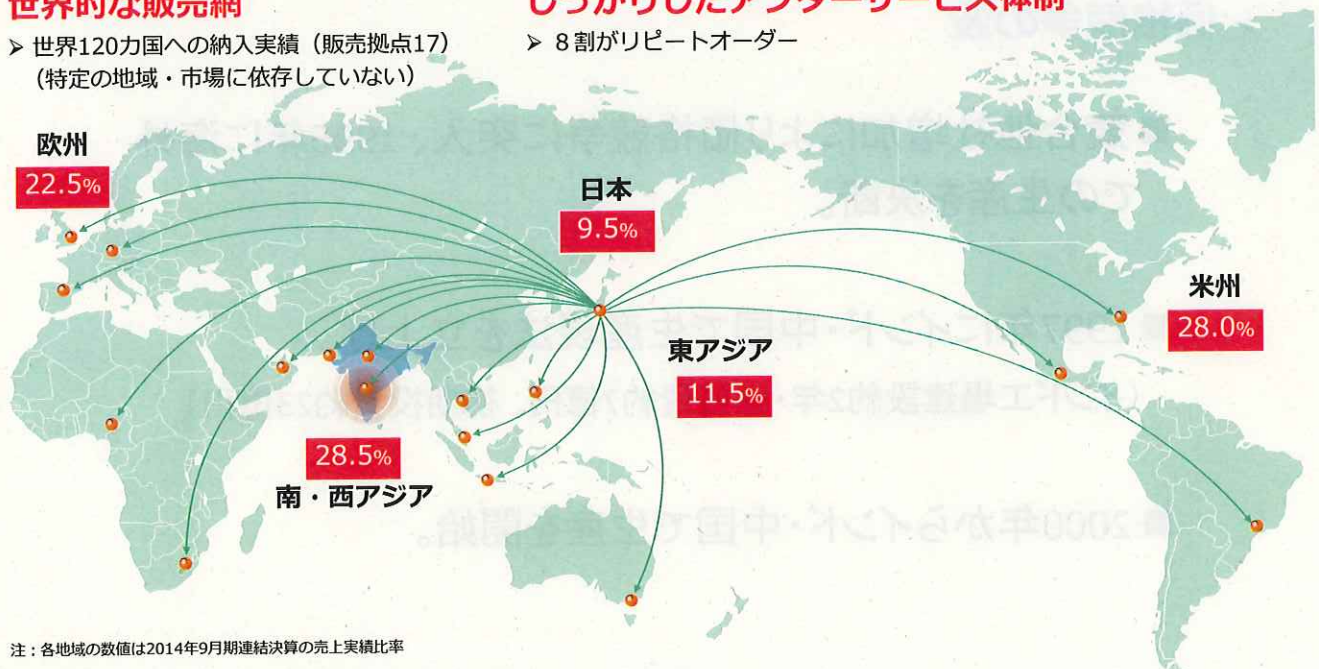
グローバルな営業・サービス展開

世界的な販売網

▶ 世界120カ国への納入実績 (販売拠点17)
(特定の地域・市場に依存していない)

しっかりしたアフターサービス体制

▶ 8割がリピートオーダー



注：各地域の数値は2014年9月期連結決算の売上実績比率

インド工場ASBI設立経緯

11

海外進出の経緯

▶ 価格競争の波

- 競合他社増加により価格競争に突入、1996年に海外での生産を決断。
- 1997年にインド・中国で生産現法を立上げ。
(インド工場建設約2年・建設費約7億円、初期投資約23億円)
- 2000年からインド・中国で生産を開始。

インド進出の背景

▶ コスト・人材・インフラ

- コスト削減。（内製化でコスト削減＋安価な海外調達品）
- 英語が通じ、高い教育レベルの人材が確保可能。
- 外国人に対し公平で、日本の技術も認めている。
- 巨大国内マーケットの期待。

マハラシュトラ州進出の背景 (1)

▶ MIDC・インフラ事情・外注

- MIDCが当社の要求を優先的に受け入れてくれた。
- マハラシュトラ州は、他地域に比べ、電気・水事情がよい。
- 操業当初、外注の約80%がマハラシュトラ州在。
- 港と空港に近く、輸送が容易。（当社は輸出が多く、
金型は、ほぼ毎日空輸）

マハラシュトラ州進出の背景 (2)

➤ 独資・EOU

- 独資で進出。(ソニー殿に次いで日系企業2番目の独資)
- EOU (Export Oriented Unit)を取得。
 - * 当初10年間法人税免除。(現在は、法人税納付)
 - * 現在もEOUの認可を継続している為、設備機械・部品の輸入関税は免除。

ASBI操業状況 (1)

➤ 陣容・操業・生産

- 従業員 約1,200名(操業当初 約100名)
購買、設計(機械・金型・製品)、加工(機械・金型)、
組立(機械・金型)、成形、品質保証、サービス、
営業(国内・海外)、総務、経理、IT
- 操業 3シフト24時間・週7日・年360日稼働
(組立・成形部門 2シフト、管理部門 1シフト)
- 月次生産量 機械50台、金型120型
- 売上43億ルピー 60% 輸出、40% インド国内販売

ASBI操業状況 (2)

➤ 社員

- ITI (Industrial Training Institute) = 中卒 + 専門学校 (約20%)
- Diploma = 高卒 + 専門学校 (約60%)
- Degree = 大卒、大学院卒 (約20%)

- 離職率 直近 約10%
- 昇給率 10~12%
- 組合員 約15% (約160名)

ASBI操業状況 (3)

➤ 課題・難しさ

- 高い昇給率・離職率。
年10%以上の高い昇給率・離職率 (サービス業の離職率は40%)
- 中々進まないインフラ(道路・電気)整備。
年中行事のように続く道路工事
- 低い衛生観念。
- インドカルチャーとのギャップ。
複数人種・文化・言語、ものづくりの難しさ、合併先との関係維持の難しさ
- 煩雑で時間のかかる政府関係手続。

インド生産拠点の活用・拡充

19

インド生産拠点の活用・拡充

当社製品をインド工場から直接出荷する体制を確立し、生産量の増加により売上規模の拡大を図る

- これまで本社工場から輸出していた金型及び主力成形機をインド工場から直送する体制を整備し、コストの抑制と納期短縮を図り、生産量を増やし、売上規模を拡大する。

インド工場の機能強化・拡大

- インド工場を基軸にし、中東・アフリカ向け販売拡大、パーツビジネス拡大、インドから世界に人材を派遣等、インド工場の機能を拡大する。

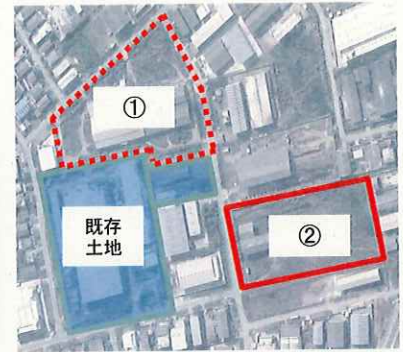


生産体制の拡充に着手

【インド工場拡張を検討】

▶ 新製品・大型機の生産移管を検討
= インド工場拡張の検討

- ◆ 売上 2億INR >> 40億INR >>
- ◆ 従業員 100名 >> 1,200名 >>



【インド工場のメリット】

- ▶ コストダウンの推進
- ▶ 優秀な人材の確保
- ▶ 成長市場としての期待

【インド工場の活躍】

- ▶ 品質レベルは世界水準
- ▶ 製造コストの低減化に寄与
- ▶ インド市場の販売拡大



インド工場を有効活用し、インドからの更なるグローバル化を目指す

21

本日はありがとうございました。

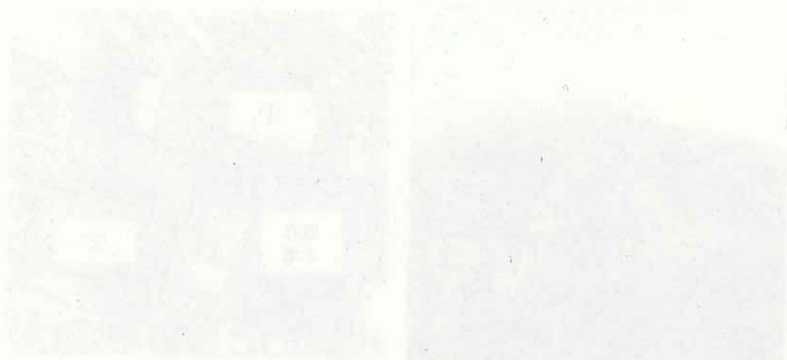
<本資料に関するお問い合わせ先>

増田 一美

ASB International Pvt. Ltd.

e-mail : k.masuda@asbi.co.in

手書きがよみのやすい



【95%の手書き対応】

はがきや封筒の印刷大・品名欄や
 封筒の宛先欄の印刷

- ◆ 封筒 200mm << 40mm
- ◆ 封筒 100mm << 120mm



【95%の手書き対応】

はがきや封筒の印刷大・品名欄や
 封筒の宛先欄の印刷

【95%の手書き対応】

封筒の印刷大・品名欄や
 封筒の宛先欄の印刷

手書きがよみのやすい

日本はありがたうございました。

お問い合わせ先
 ASAHI SHIMIZU PAPER CO., LTD.
 〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
 TEL: 03-3251-1111 FAX: 03-3251-1112
 E-MAIL: kumada@asa.co.jp